

を目指しましょう。

北海道インバウンド加速化プロジェクトに基づく、国際的に質の高い観光地づくりや人づくりなど、道内各地で進められている取り組みを紹介しします。
▶道庁観光局 ☎(011)204-5305

教育 旅行を次世代の力に

●訪日教育旅行の受け入れ・海外教育旅行への支援

訪日教育旅行は、海外の学校の生徒が日本に修学旅行などで訪れることです。道では、両国の生徒同士の交流を通して日本への理解を深めてもらうため、受け入れの支援を行っています。

訪日教育旅行の受け入れを進めることは、若いうちに日本の魅力に触れてもらい、その後何度も日本を訪れる“北海道ファン”を育てることにつながります。また、北海道の生徒にとっても、海外に興味を持つきっかけになります。現在は、台湾からの訪日教育旅行が多く、道内の高校などが受け入れに協力しながら、身近な海外経験の場としてこの機会を活用しています。

このほか、道も参加する北海道海外旅行促進事業実行委員会では、旅行代金やパスポート取得といった海外渡航費の一部を助成するなど、道内の中学・高校等が実施する海外教育旅行への支援も行っています。



ハワイを訪れた道内高校の生徒たち

生徒の身近な海外経験の場。 自らおもてなしを実践しています。



札幌日本大学中学校・高等学校
副校長 沖田 五十二さん

本校は、訪日教育旅行の受け入れを始めて4年目。文部科学省の指定するスーパーグローバルハイスクールとして国際的に活躍する人材の育成に力を入れていることから、海外の高校を年に1、2校受け入れ、日本文化の体験と交流活動の場を提供しています。

交流活動はすべて英語ですが、回を重ねるうちに、自分から声をかけるなど積極性が増し、互いの国の文化についての発見も多くなったようです。また、「どのようにお迎えしたら喜んでもらえるか」「親近感の湧く交流のしかたはないか」などを生徒が自ら考え、実践するようになりました。浴衣の試着体験や少人数でのグループディスカッションもその一つです。

訪日教育旅行の受け入れは、一度に多くの生徒が異文化体験をできる貴重な機会。今後も続けていこうと考えています。



浴衣の試着体験をした台湾の生徒たち



北広島市

皆 さん 道民みんなが「おもてなしの心」を持とう

海外からの観光客にとって旅の一番のお土産は、おもてなしの心にふれることです。

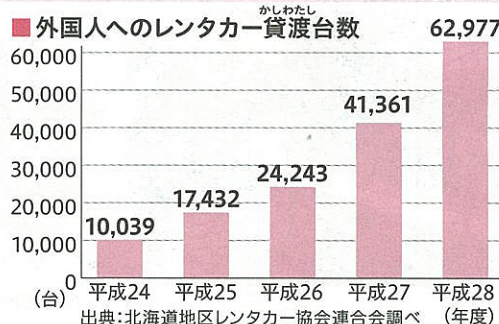
●外国人ドライバーに配慮しましょう

北海道を訪れる海外からの観光客のレンタカー利用は、過去5年間で6倍以上に増えています。そこで道は、日本での運転に慣れない外国人ドライバーへの配慮を周囲に促すため、「外国の方が運転しています」と記したステッカーをレンタカー会社などへ配り、貸し出す車に貼ってもらうよう呼びかけています。

皆さんが運転しているときに、ステッカーの貼られた車を路上で見かけたら、初心者マークを付けた車と同じように温かく見守ってください。



外国人ドライバー向けのステッカー



温かい心でお迎えするためには、 笑顔と思いやりが大切です。



道庁経済部観光局
主任 竹田 正直

より満足度の高い受け入れ体制は、観光に携わる人たちの力だけでは実現しません。海外からの観光客を笑顔で迎え、困っているときには親切に対応するなど、道民の皆さんの意識と行動が、「また来たい」と思える北海道のイメージにつながっていきます。

今後は、都市部だけでなく道内各地に海外からの観光客が訪れるようになると思います。多言語対応よりも大切なのは、笑顔と思いやり。温かい心で迎えたいという気持ちを行動で伝えることだと思います。

フォーラム参加者募集 「子どもの貧困を考える」

国の調査では、7人に1人の子どもが貧困にあるといわれ、道が実施した調査では、家庭の経済状況などが子どもの日常生活や進学希望に影響していることなどが明らかになりました。

フォーラムでは、この調査結果を紹介するほか、今後の支援や地域の取り組みなどについてパネルディスカッションを行います。子どもの貧困を身近な問題として理解を深め、一緒に考えましょう。詳しくはお問い合わせください。

◎日時/12月16日(土)13~16時
◎会場/北海道大学 学術交流会館
(札幌市北区北8西5)

◎申込締切/12月6日(水)

▶道庁子ども子育て支援課
☎(011)206-6328



ご存じですか? 「無期転換ルール」

平成25年4月1日以降に有期労働契約が繰り返し更新されて通算5年を超えたとき、労働者の申し込みにより、期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換できる制度です。

詳しくは、「有期契約労働者の無期転換ポータルサイト」をご覧ください。

無期転換 ポータル 検索

【相談窓口】 厚生労働省北海道労働局
雇用環境・均等部指導課
☎(011)709-2715

▶道庁働き方改革推進室 ☎(011)204-5354

寄附禁止のルールを守ろう

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることや、有権者が政治家に寄附を求めることは公職選挙法で禁止されています。贈らない・求めない・受け取らないの「三ない運動」で、明るい選挙を実現しましょう。

【禁止の対象】

- お歳暮・お中元 ●入学祝い・卒業祝い
- 落成式・開店祝いなどの花輪
- 病気見舞い ●葬儀の花輪・供花
- お祭りや集会などへの差し入れ
- 秘書などが代理で出席する場合の結婚祝い・葬儀の香典 など

▶北海道選挙管理委員会事務局
☎(011)204-5153

環境学習の講師を派遣します 「eco-アカデミア」

道では、町内会やPTA、学校などが開催する環境学習講座に、各分野で活躍する講師を派遣しています。講師への謝礼金と旅費は道が負担します。

- 参加者40人以上、2時間程度の講座で、誰でも参加できることが原則です(幼稚園、学校などが開催する場合を除く)。
- 宗教・政治・営利活動が目的の場合は対象外です。
- 講座内容やその他の注意事項は、ホームページをご覧ください。

道のホームページから申請書入手して希望講座を選び、開催日1カ月前までに必要書類を提出してお申し込みください。ご利用をお待ちしています。

eco アカデミア 検索

▶道庁環境政策課 ☎(011)204-5188

報告 道議会

！ 定例会の概要などをお伝えします。

平成29年第3回定例会(9/12~10/6)

■定例会の概要

知事から提出された予算案6件(一般会計99億8,300万円、特別会計2億700万円)と条例案6件、その他の案件21件が原案可決、人事案件3件が同意議決、諮問1件が棄却すべき旨答申され、決算案件4件は、継続審査となりました。また、議員及び委員会から提出された決議案1件、意見案3件が原案可決されました。

本会議では、行政事務全般にわたり、知事などに対し、執行状況や将来の方針などについて、各会派から1人ずつ計5人の議員が代表質問を行いました。また、医療・福祉政策(農福連携、離島医療の充実など)、1次産業の振興(農畜産物の輸出拡大、漁業振興など)、地域振興(地方活性化、過疎地対策など)、アイヌ政策(民族共生象徴空間、アイヌの遺骨返還など)、災害対策など道政が直面する諸課題について、22人の議員が一般質問を行いました。

予算特別委員会からは、北朝鮮によるミサイル発射、北方領土問題、JRの路線見直し、災害の早期復旧及び自然災害による被害の未然防止、JXTGエネルギー(株)室蘭製造所の再編について意見が付けられました。

■主な議決の状況

●予算案 6件

「平成29年度北海道一般会計補正予算(第2号)」など

●条例案 6件

「北海道立学校条例の一部を改正する条例案」など

●決議案 1件

「朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に抗議する決議」

●意見案 3件

「国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書」など

■第42回北海道議会議場コンサート



議場コンサートでの古式舞踊

第3回定例会の初日に議場コンサートを開催しました。当日は、アイヌ文化公演としてムックリ演奏やユカウ、古式舞踊が披露されました。コンサートの模様は「北海道庁インターネット放送局 Hokkai・Do・画」で公開しています。

~ホームページをご覧ください~

道議会ホームページでは、議会中継・録画、議会の日程、傍聴・見学のご案内などをご覧ください。

なお、質問などの詳細は、市町村役場等に配布している冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。

北海道議会 検索

~次回定例会のお知らせ~

平成29年第4回定例会は、11月下旬に開会の予定です。最新情報は、ホームページや北海道議会ツイッター(@hokkaidogikai)などをご覧ください。

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

土の返還を求める北方領土返還要求運動の趣旨から、最も適切な日として設定されました。